

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[手順説明](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、バックアップの Cisco コンテンツ サービス スイッチ (CSS) に編集済みのバージョンを配置するために、マスター スイッチの設定を同期または編集する方法について説明します。この手法により、バックアップ CSS を新たに設定する必要がなくなります。

注このドキュメントは冗長な ボックス ツー ボックス (マスター/バックアップ) コンフィギュレーションのためにだけ連動になります。この文書では、マスター CSS がすでに設定され、バックアップ CSS がまだ設定されていない状況を想定しています。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CSS 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチ
- Cisco WebNS Software リリース 3.02 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

手順説明

1. マスター CSS が設定されているため、最初のステップとして、実行コンフィギュレーション

ンを取得します。スイッチから、次のコマンドを発行して下さい:CS100#

```
save_configWorking..(\) archive startup-config
```

2. ファイルがアーカイブディレクトリの下で保存されることを確認して下さい。CS100# `show archivestartup-config MAY 16 14:34:28 162`
3. PC から、マスター CSS にアーカイブディレクトリの下にあるスタートアップ設定ファイルにアクセスすることを入るのに FTP を使用して下さい。CS100# `show archivestartup-config MAY 16 14:34:28 162`
4. Notepad のスタートアップ設定ファイルを開き、バックアップを反映するために設定を修正して下さい。s 設定 (通常ちょうどデフォルト ルートおよび redundancy-protocol VLAN の IP アドレスは変更されることを/修正される必要があります)。
5. startup-config として書き換えられた設定を保存して下さい。
6. 設定は今修正され、今バックアップ CSS に設定を押すことができます。クロス オーバーケーブルを使用する、バックアップ CSS のマネージメントポートに入るのに FTP を使用して下さい。CS100# `show archivestartup-config MAY 16 14:34:28 162`
7. 冗長 CSS (バックアップ) はマスター CSS と同期されるようにリポートされ、なって準備ができています。

[関連情報](#)

- [CSS 11500 シリーズ製品 サポート](#)
- [WebNS CSS 11500 ソフトウェアダウンロード](#)
- [Cisco CSS 11000 シリーズ 製品サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)